

# 山行報告書

山行管理部

## 公開山行 七兵衛山 12月23日

L宮田、SL木村(佐)、高田、横山 参加46名(うち一般3名)  
阪急梅田駅 8:50→芦屋川 9:45→会下山遺跡 10:20→風吹岩 11:30→横池 11:45(昼食)12:30→打越峠 14:00→七兵衛山 14:05→岡本八幡神社 15:30(解散)

天気予報では15時頃から雨が降るとの事であったため、天気が何とか持つように祈りながら、2班に分けて出発しました。昼食は横池を予定していましたが大きな猪が池の中に…横池を少し上がった所の広場で昼食としましたが、そこにも猪が現れ…幸い何事もなく立ち去ってくれたので一安心。黒子谷ではリスを発見し、癒されました。山行中、足をつった方がおられました。少しの休憩で回復され、皆無事下山されました。最後に、今後の反省点として何点か挙がりましたので記載します。まず、当日集合場所に来られた際、受付をされない方がいたので、参加者の確認を円滑に行う為にもお願いします。また参加の申込みですが、指定の時間までに直接申し込みをされずに「〇〇さんに言ってもらうように頼んでいた」、「土曜日に事務所に電話した」、等の理由で参加の通知が届いていない方が数名いらっしゃいました。申込みの期日、方法等は当日の混乱を避けるためにも所定の方法でお願いしたいと思います。なお、一般参加された1名が当日入会されました。

(横山 記)

※アンダーライン部分は、当クラブにとって「有益な意見」と考え、山行管理部で線を引いたもの。

## 教育部 鎌倉峡・不動岩(納山会) 12月29～30日 L高桑 参加10名

JR尼崎前 13:30 — 鎌倉峡 15:30

- ・テント設営の現地訓練 設営時の注意事項など
- ・テント内での炊事やマナーなどの注意事項
- ・氷点下時のテント泊の体感
- ・不動岩で岩登りの現地訓練

道場 15:30(反省会) — JR尼崎駅 17:30解散

年末の忙しい時に9名が参加して雪がちらつく鎌倉峡でテント泊の各種講習をする。予想通りに設営は1パーティーのみ。テント内でお酒と美味の鍋やサプライズプリンをつつきながら今後の教育部予定やきたろうの将来に有意義に語り合う。翌日は当日参加者1名を加え不動岩に移動。昨夜の千刈Pはもしかして賑やかだったのではと予想外の混雑。そのなかでトップロープで慎ましく安全に岩登り講習。年の瀬の寒さの中ではあったがホットな2日だった。(高桑 記)

**自然保護部 服部緑地探鳥会 1月6日** L井・目加田 参加10名  
北大阪急行緑地公園駅 9:00～緑地公園 9:20～～服部霊園～～緑地公園～～12:25  
昼食 13:00～～14:00 鳥合せ 14:20 解散

くもり空の寒い服部緑地公園を探索した。たくさんの方が憩う公園ですが、池あり緑ありの自然に近い環境には珍しい鳥もやってきます。下見で観察した、ミソサザイ、ミコアイサ、ミヤマホオジロには会えなかったが、なんとなんと、服部霊園に向かう川沿いの歩道からアオバトを発見！何年ぶりかに見た私の興奮は伝わっていたでしょうか。リーダーの先導力に感謝です。他にルリビタキ、カワセミ、エナガ、ゴイサギ、ヨシガモ、ハシビロガモなど35種を観察。

(目加田 記)

**土曜山行 権現山～蓬萊山 1月12日** L三嶋、島袋、伊藤 参加17名  
JR大阪駅 7:45 発 ⇒ 8:35 堅田駅 8:50 ⇒ 9:23 平 9:38 ～ 11:45 権現山 ～(昼食)～  
13:55 小女郎峠 ～ 14:45 蓬萊山 ～ 15:20 内見山(ロープウェイ・バス) ⇒16:15 JR志賀駅着

堅田駅からのバスが平に近づくにつれ、道路わきには雪かきの跡が目につき、若干の不安を覚える。全体を二班に分けて出発し、アラキ峠までの途中でアイゼンを付ける。峠から権現山にかけての稜線上も踏み跡は残っていたが、途中稜線を外してしまい、戻るのに直登を強いられる。ただ倒木の為に歩き辛かった夏道は雪で覆われ、逆に歩きやすくなっていた。権現山山頂は曇り空だが視界は良好、琵琶湖を挟んで白い鈴鹿山系がくっきり映る。当日は風も殆どなく、小女郎峠への途中で昼食とした。稜線上は踏み跡を少しでも外すと「深く踏み抜く」こととなり、度々苦戦する。小女郎峠手前の「小さな石仏のピーク」からは、2班に前を歩いて貰うこととした。積雪のある蓬萊山山頂は初めてであり、秋に目にした「展望用の巨大なウッドデッキ」等が見当たらず、進むべき方角を迷ってしまう。結局、予定の「スキー場の端っこ」を歩かせてもらい、打見山に到着。

時刻は既に15時を過ぎており、最後はロープウェイで下ることとした。

今回、風に関しては予報通りであったが、積雪については十分に把握しておらず、最新のヤマレコ情報等を、しっかり見ておくべきであったと思う。

(三嶋 記)

**ウイークデイ 甲山～北山ダム 1月16日** L杉谷、木村(佐) 参加11名

阪急梅田駅 8:29—仁川駅 8:57、 9:20 (出) 地すべり館 9:40～展望台 10:20～甲山 11:15 (昼食) 11:50 (出)～北山ダム 12:15

～銀水橋 13:30 (解散)～阪急夙川駅 14:30

吹く風は冷たかったが青空のもとのんびりおしゃべりにはなをさかせてのハイキングでした。地すべり館横の供養碑に献花される人がいて複雑な思いでした。

(くしくもきょうは24年前の阪神淡路大震災の前日でした。)

北山ダムから振り返った甲山は名前のごとくかわいい山容を見せてくれました。

下山が早かったので銀水橋から夙川駅まで小1時間川沿いを散歩しました。春の桜の頃は見事だそうです。(杉谷 記)

**教育部 氷ノ山 1月19～20日 CL高桑 SL高山 参加10名**

1/19 JR 尼崎駅 9:30→若桜氷ノ山命水付近 14:00 (テント設営後ミーティング・鍋)  
→就寝 21:00

1/20 4:00 起床 (朝食・テント撤収) 6:30→氷ノ越避難小屋 9:45 →氷ノ山山頂 10:20  
→下山 13:30→JR 尼崎駅 18:00

初参加のメンバー4名を含む10名で快晴の尼崎を出発。こんなに暖かくて雪があるのかなと心配したが、若桜スキー場に近づくにつれ道路脇は雪の山で気持ちが弾む。いつもの氷山命水付近の雪上でテント設営のための雪ならし。初めてのメンバーも多く、みんなでワイワイ傾斜をならして平地にしていく。8テンと5テンを設営後、早々とテントでお鍋の準備、そして恒例の宴会、もといミーティング開始。しかし翌日の天気予報は降水確率80%、「てんきとくらす」でもCCC・・・、山行中止で温泉になると信じて就寝。翌日4時起床、雨と雪の混じった天気であったが、山行決行。雪質は表面は新雪、下は絞まっけていてすごく歩きやすい。氷ノ越避難小屋まではアイゼンなしで歩行、小屋でアイゼン装着。こしき岩の巻き道もルートがついていて歩きやすくスイスイ進んだが、だんだん雪まじりの雨と風でリュックもシェルもびちゃびちゃになってくる。頂上小屋では貸切状態で休憩、ここでワカンを装着して下山開始。坂は尻セードで一気に滑降。今回残念だったのは、雨で濡れていたため滑落停止訓練ができなかったこと、また次回に持ち越しです。(森(庸) 記)

**ターブル 諭鶴羽山と灘黒岩水仙郷 1月20日 L飯塚・石野(明) 参加25名**

森之宮7時出発＝神戸淡路鳴門道室津PA (8:00～15)＝灘黒岩水仙郷 (9:07～9:50)

黒岩登山口登山開始 (10:10) …坊さま角 (10:35) 薬師堂跡 (11:30) …諭鶴羽神社 (昼食11:50～12:30) …諭鶴羽山 (12:45) …神倉社 (13:45) …諭鶴羽ダム (14:00)

＝淡路SA (買い物・トイレ)＝神戸淡路鳴門・阪神＝森之宮 (17時着)

早い時間の集合でしたが遅れる方無く定刻に森之宮を出発したおかげで高速は、なあ～んてなめらかあ～♪と渋滞なく快走し開園直ぐの水仙郷に着け問題の駐車もスムー

スに観光客で混み合う前に丁度見頃となった水仙を楽しみました。

表参道十八町は、登りばかりの結構な急登でしたが昼前には論鶴羽神社に到着し、またもやタイミング良くみんな揃って暖かい室内で昼食を頂く事ができました。

裏参道二十八町は一転、緩やかな下りで晴れていればアカガシに大杉といった樹林の美しい古道です。怪しい天候ながらも雨具を着ること無く、下見の時以上に順調な山行となり帰りの高速も再び、なめらかぁ〜♪に明るい時間の帰阪が出来ました。

一つ残念なのはやはり、青空背景の水仙や山頂からの雄大なパノラマを観られなかった事です。「きたろう」の中には、自称雨男・雨女?の方がいらっしゃるようですが…

2020年も目前、AIや科学の発達した現代にそんなものあるのでしょうか？

ただ、ずっと晴れ予報だったお天気なのに山行が近づくに連れどんどん怪しくなり今にも泣きだしそうな曇天は、不安・緊張等々でいっぱいいっぱいの担当者の心情そのまま無事下山したとたんに霧が晴れ、陽も射して余りに不思議なほどリンクした空模様に、そんなものなのかもしれない…と、ちょっと面白可笑しく感じました。

人類の英知がどんなに進んでも、自然に対する畏敬の念を忘れることなく謙虚でなければならぬ…何度となく耳にした言葉です。きっと24年前のその日も、今日と同じように水仙は可憐に咲いていたことでしょう…。寝不足と安堵から、ぽやぁ〜と緩んだ頭で（あ、さっき飲んだビールのせい？）

青空が広がった淡路SAから臨む堅牢でしなやかな明石大橋（震災の3年後に完成）陽射しを受けてキラキラと光る海の向こうに広がる復興した神戸の街並み、その後ろにそびえる六甲山地の美しい景色を眺めながら、忘れがちな平凡な日常の尊さを想う。平成が終わりを迎える節目に此の地に来られたこと、自身の記憶に残る山行になったと感じています。たくさんの方にご参加・協力いただき本当にありがとうございました。  
(飯塚 記)

**有志山行 北摂中山 1月3日 L児玉、S L岩佐 参加16名**  
阪急梅田 8:00~8:27 中山観音駅~中山寺(参拝)~9:00 シンボル広場(体操)  
9:10~9:50 夫婦岩~11:10 中山最高峰~11:45 奥の院(昼食) 12:25~  
12:39 安らぎ広場 12:53~13:25 ガレ場経由荒神手前墓地(整理体操) 13:33  
~13:40 清荒神山門前(解散)

2019年初山行のため参加者全員が華やいでいるように見えます。新年のご挨拶を済ませ出産時腹帯で有名な中山寺を参拝する。どんどん奥まで進み境内を離れシンボル広場で体操をする。この周辺は梅林で春にはにぎわうところです。ハイキン

グ道に入ると汗をかき始め、衣服を調整し夫婦岩まで登ってきますと大阪平野が一望で伊丹空港では今まさに飛行機が飛び立とうとしています。遠くの生駒、金剛も目の前です。ハルカスもよく見えました。少し登り下りがありました但中山最高峰に着き北摂の山々を視ます。こちらは縦走路、あちらは武田方面等会話も弾みますが、さすが山頂は寒く早々に奥の院まで下りました。陽だまりを探し昼食にしました。会話がさらに弾み春まつ寒空と汗をかいた爽快さの両方を楽しみ下山しました。安らぎ広場では野鳥の初鳴きやら草原の感覚をひと時楽しみ清荒神まで下りました。参拝をする人、下山する人があり散会しました。

Y氏の案内で混雑する荒神様を一つ一つ参拝しました。露店での買い物や冷やかしを楽しみつつ駅前でお茶と和菓子で締めくくりました。

このコースは里山特有の分岐が多くありますが道標は完備され迷うことはないでしょう又体力に合わせ縦走路や武田尾方面へ行けます。武田は廃線跡トンネルのコースもあります。また五月ころは馬酔木が白い花を咲かせ美しいですよ。

初山行で気持ちも体も清々しさを体験しました。 (児玉 記)